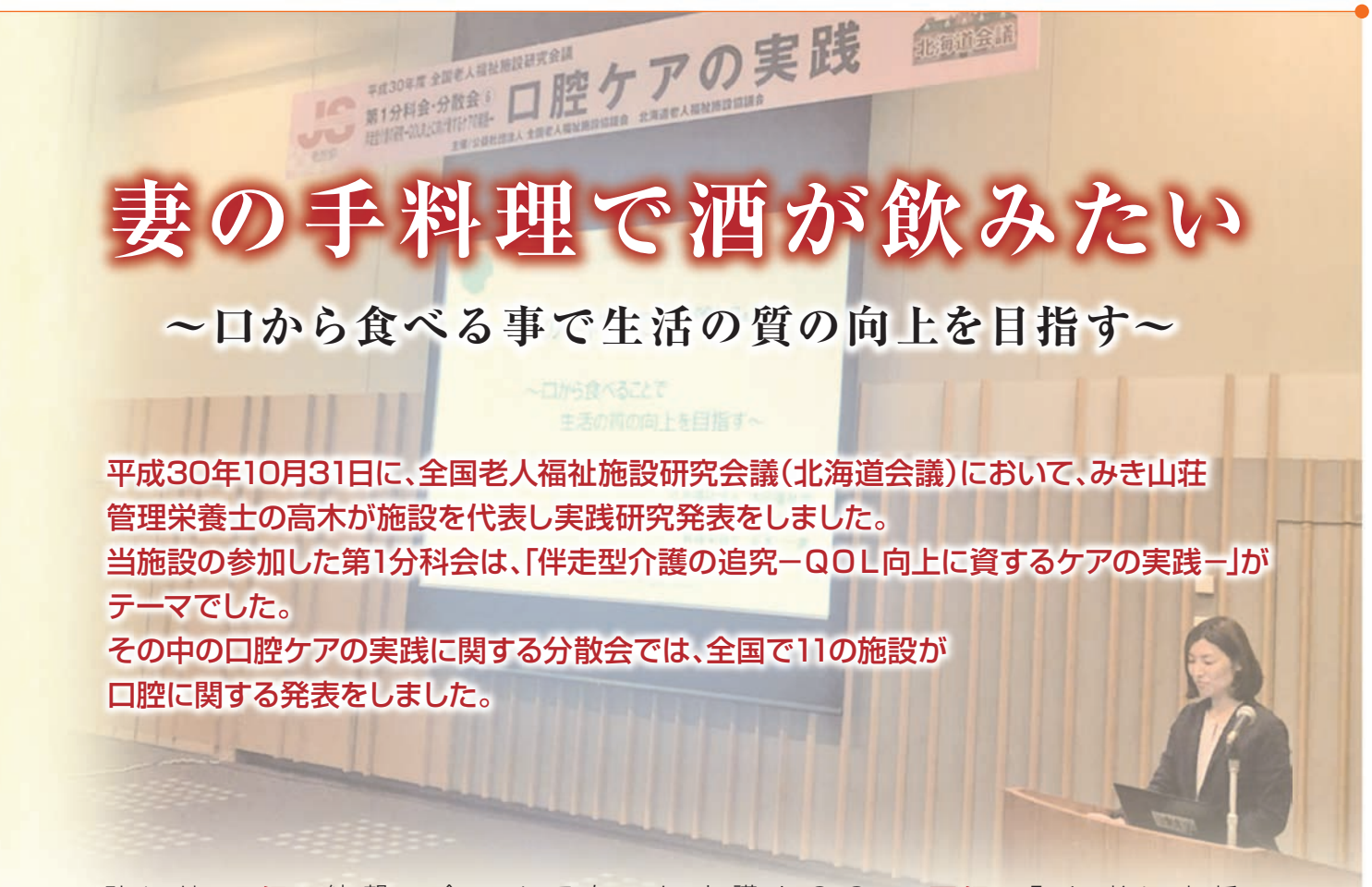
山荘だより

2018.11.15 No.104

社会福祉法人
木田福祉会

特別養護老人ホーム 白山山荘　特別養護老人ホーム みき山荘



妻の手料理で酒が飲みたい

～口から食べる事で生活の質の向上を目指す～

平成30年10月31日に、全国老人福祉施設研究会議（北海道会議）において、みき山荘管理栄養士の高木が施設を代表し実践研究発表をしました。
当施設の参加した第1分科会は、「伴走型介護の追究－QOL向上に資するケアの実践－」がテーマでした。
その中の口腔ケアの実践に関する分散会では、全国で11の施設が口腔に関する発表をしました。

研究目的

当法人では、「口から食べること」を支援し、このことをきっかけに、入居者・ご家族の満足度が高まるよう、多職種協働にて取り組んでいます。経管栄養の入居者に対しても、経口移行をきっかけとした生活機能の維持・向上を目指す取り組みを行っています。

経口移行への準備と可能性の模索

入居時の取り組みとして、①経口ケアの実施、②車椅子への離床訓練、③車椅子の選定を行いました。蓮井歯科・ファミリークリニックの歯科衛生士指導の下、看護師・介護職員による口腔ケアの実施により、口腔環境の改善がみられるとともに、発語もみられるようになりました。

次に、機能訓練として、車椅子への離床を開始し、離床時間・回数を増やすことができました。より長く、安定した離床ができるよう、車椅子の選定も行いました。

入居してから2週間が経過した頃、面会中の奥さんから、「主人が何か飲みたがっている」との話があり、Y氏・家族の希望を受け、主治医に相談し、摂食・嚥下の練習を開始しました。

経口移行への挑戦

経口移行の取り組みとして、①嚥下訓練の開始、②VF検査（※）の実施、③経口摂取の開始、④食事形態のアップを順に計画しました。

まず、棒付き**飴を舐める**ことから始め、トロミ付き水分、**ゼリー等**の経口からの促しを行いました。順調に量を増やしていくことができたので、主治医より、VF検査の指示がでました。

検査結果を基に、多職種にてカンファレンスを行い、**ミキサー食**を提供することになりました。開始時は、介護職員の介助にて食事していましたが、食事動作訓練を実施することで、自分で食べることができるようになりました。

ミキサー食を安定して食べるようになり、再度VF検査を実施し、「**トロミ付きの全粥、軟菜刻みあんかけ**」へと食事形態をアップしました。食事形態変更後は、咀嚼する様子が見られ、ミキサー食よりも食べこぼす量が少なくなりました。奥さんは、「皆さんと同じものが食べられるようになりよかった」と大変喜ばれました。

誕生会の祝い膳

生活の質の向上

①生活環境の整備

夫婦のより良い時間を持てるように、居室内のテーブル等の配置を工夫しました。リビングでは、顔なじみになった入居者や職員と会話と楽しめるような空間作りを行いました。

②服装の変化

入院中に**つなぎ介護服**を着用していた

（※）嚥下造影検査のこと。X線を照射しながら行う飲み込みの検査。

Y氏でしたが、入居後の口腔ケアの実施等により、職員とのコミュニケーションがうまく図れるようになったこと、経口摂取により、**パジャマ**へと服装を変更することができました。その後の離床時間の増加に伴い、**トレーナー**、愛用していた**ポロシャツ**へと服装が変化していきました。

③施設行事への参加

・新年会

お酒が大好きなY氏はノンアルコールビールで奥さんや職員と乾杯し、久しぶりの飲酒を楽しまれました。

・初釜

奥さんの介助で抹茶を飲んだとき、顔をしかめ、苦そうな表情がみられました。

・誕生会

奥さんと祝い膳を囲み、自力で全食されたY氏は、「敬礼」で嬉しさを表されました。奥さんは涙を流し、久しぶりに一緒に食事ができたことを喜ばれました。

・料理レクリエーション

次のステップとし、奥さんの手料理を味わう料理レク、自宅に帰り、再び家族と食を共にするという外出レクを企画しました。

料理レクでは、奥さんの、「主人に手料理を作りたい」という気持ちに応え、ユニットのキッチンにて「卵焼き・味噌汁」を作ってもらいました。

Y氏は、キッチンから漂う味噌汁の香りや、包丁の音で、料理が出来上がるのを楽しみ、久しぶりに、奥さんの手料理を味わいました。

新年会で乾盃

料理レク翌日、急に体調が変化し、心不全にて入院となりました。この時、誤嚥性肺炎の所見はみられませんでした。入院中に心不全にて亡くなられ、残念ながら予定していた外出レクは実現することができませんでした。

まとめ

今回、本症例の経口移行というのはとても難しい取り組みでしたが、経口摂取できなくなってから比較的早期の取り組みであったことが、本人の食べる意欲・体調の安定に繋がり、一度も誤嚥することなく実施することができた要因であったと思われます。

入居者の生活の質を向上させるためには、ご家族と施設職員との連携、多職種協働が不可欠です。今回、複数回のカンファレンスを行い、多職種間にて情報の共有・意識の共通化を行い、改めて、多職種にてケアする大切さを感じることができました。

ご家族様より、「倒れた時には、こんなに良くなるとは想像もしなかった。この施設に出会えたこと、幸運だったと思っています。」との言葉をいただいたことは、私たちの仕事における自信に繋がる大きな経験となりました。

最後に、本事例発表に対し、ご理解・ご了承いただいたご家族様に謝意申しあげます。

そして、Y氏のご冥福をお祈りいたします。

奥さんの手料理

空調工事完了！

7月より、みき山荘本町では空調設備の改修工事をしていましたが、この度、無事に完了することができました。これまでは集中管理による冷暖房でしたが、様々な状態の入居者に対応するために、個別に調整可能なエアコンに換装しました。この冬は快適な環境で迎えていただけるかな。

秋祭り

天野神社大獅子

今年も三木町の獅子連がたくさん訪問してくれました。天気も良く大獅子・子獅子が勢いよく舞っているのを見て、利用者様の笑顔や拍手で溢れました。

秋の収穫祭

収穫したさつまいもを使用し、利用者様の前で天ぷらを揚げました。揚げたての天ぷらに「熱々でおいしいわ」「やっぱり天ぷらは揚げたてがええの」等との声も上がり皆さん笑顔で食されました。

敬老会

夢若会のみなさんに素敵な舞踊やフラダンスを披露していただき、ご長寿のお祝いをしました。

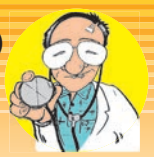
職員手作りのメッセージ入り写真立てを贈りました。

家族会会長より記念品（肌布団）の贈呈をしていただきました。

散　歩

清々しい秋晴れの日に、民生委員のみなさんと散歩を行いました。「彼岸花が咲いてる」「もうすぐお祭りですね」と会話も弾み、秋の訪れを感じながら楽しいひと時を過ごしました。

嘱託医 三好恵一先生の つぶやきコーナー



認知症予備軍からの回避①

伊藤良春新町長、ご就任おめでとうございます。新しいリーダーのもとに、さらに住みごこちのよい町がつくられることを期待しております。

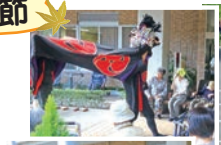
95歳以上を超老人、90歳以上を老人、80歳台を普通、70歳台は若いですねと言われる時代になりました。しかし、元気で長命なことは良いことですが、中には物忘れが度重なるようになり、次第に大脳の高次脳機能である、記憶、思考、情報処理能力、情動制御など、多くの障害が出現するようになるかもしれません。これらは、脳内の神経細胞が変性、壊死することにより、神経ネットワークが壊れたために生じます。残念ながら進行を止めることができる薬は見つかっておりません。回復させるためには、日々の目標を持ち、意欲的にリハビリに取り組むことにより、ネットワークの補修、再構築を可能にすることがベストな方法です。リタイヤして楽隠居なんて思わず、やってみたいことは誰でも必ずあるはずだと思います。閉じこもらないで、目標に向かって日々行動に移してください。また、やっていることを仲間に伝えてください。仲間の励ましもあるでしょうし、たとえ制止されても、その言葉をも力にして遂行してください。年をとっても「気が若い」と言われる言葉に励まされ、一度しかない人生、楽しみながら送りましょう。

みき山荘

秋日記

近づいてくる獅子舞のお囃子に心が躍り、
大地の実りのありがたさを実感する季節ですね
みき山荘でも秋がいよいよ深まりを見せています･･･

獅子の季節



重元･石ヶ坪大獅子

今年の秋祭りも、たくさんの獅子が来てくれました。昔なじみの油単の柄を見つけては、喜ぶお年寄りの笑顔が印象的でした。

お茶会

ご家族といっしょに秋にいただくお茶もまた風流なものです。職員手作りのお菓子の銘は「紅葉（もみじ）」です。

おめでとうございます

NPO法人讃岐倶楽部による料理実演

ご長寿をお祝いして、みんなでお膳を囲みました。思い出に思いを馳せ、これからの人生も幸多からんことを祈願しました。

ピアノコンサート

ホールでは間嶋伊希子様による懐メロや唱歌に聞き入りました。

秋の味覚

炭火で焼いた初物のサンマ。羽釜で炊いたキノコご飯。農園で採れたふかし芋。今しか味わえない旬の味覚にみなさんご満悦。

山荘だより No.104
（平成30年11月15日発行）発行／社会福祉法人 木田福祉会 特別養護老人ホーム 白山山荘 特別養護老人ホーム みき山荘 編集／広報委員会
木田郡三木町下高岡2882-1 TEL(087)898-3123 木田郡三木町井戸381-1 TEL(087)890-3122 http://www.kitafuku.jp/

デイサービス

敬老会

9月に日頃の感謝と敬意をこめて敬老会を実施しました。
みんなでお祝い膳を囲んでお祝いした後は、みきシスターズやエヌケーオーのみなさんによるフラダンスや歌が花を添えました。利用者の方達には普段とは違ったひと時を過ごしてもらいました。

運動会

秋の大運動会を催しました。
お玉リレー、玉ころがし、綱引き、玉入れ、風船割りゲーム、浮き輪・ビーチボールリレー。特に風船割りゲームでは風船を運ぶのに普段乗らない車椅子を動かす利用者から、中々うまく動かせず、思わず笑顔がこぼれていました。

夏祭り

8月に恒例の夏祭りを催しました。屋台は、焼きそば、フランクフルト、フライドポテト、アイスクリーム、わらび餅。ゲームは輪投げ、射的、金魚すくい。
皆さん暑さを吹き飛ばす笑顔を見せてくれました。

ケアマネインフォメーション

ケアプランって？

介護サービスを受ける事になって、最初に耳にする言葉のひとつですね。
ケアプランとは、簡単に言えば、介護サービスを受けるにあたっての「利用計画書」の事です。
介護度によってそれぞれ介護サービスを利用できる回数や単価は異なり、必要なサービスを効率的に組み立てる事は、なかなか大変な作業です。
この計画を要介護者や家族に変わって考えるのが、ケアマネジャーです。
心身の状況やどんな生活を送りたいのか、しっかり聞きとり、より良いケアプランを考えていきます。

詳しくは、居宅介護支援事業所ケアマネジャーにお気軽にご相談下さい。
白山山荘居宅介護支援事業所 **TEL 898−7625**

ありがとう

（平成30年8月～平成30年10月）

寄付
うえむら農園出荷組合
花キューピット香川支部
シラヤマグリーン
みき山荘家族会
木田福祉会後援会
三木町人権擁護委員協議会
漆器山富
佐藤安佐恵
阿野吉
田中由利
今雪智
十川彦文子
串田良憲
岡地善夫
山内原由紀
堀越秀子
木村勝子
多田一志
石振英子
玉川俊子
酒井敏一
清水浩治

ボランティア
小笠原敏也
新野井浮重
星野ヨシ子
星野一榮
出口幸
大洋美
江森尻子
岡元枝
津山明子
三田エミ子
山節子
山川とみ子
松本ツ江
久地さ子
千葉幹子
保良子
笠井靖友子
千茂夫子
大裕子
山山美
中田子
多本子
谷島子
中吉子
寒糸治
左槇子
小直
西川
佐木
佐々木光
佐々木冨美
鴨井清甲
小嶋友
高木美加子
西村千孝
渡辺和甲
渡辺俊子
中村鶴秀
古賀憲子
乾敬甲
三谷久美甲
中井博甲
飯田輝甲
佐々木公甲
木根村玲静甲
三き町シ生
三木町勤労民生委員協議会

白山納涼大会
山勝大寺
願常光寺
長覚寺
信光寺
蓮成寺
松住寺
福円寺
べ若寺
夢本寺
坂整
嶋伊希子
周コ
三木中学校ボランティア部
田中小学校5年生委員
エ川ヌケ歌謡教室
香原ブラスチェンバロ
菅
重元・石ケ坪大獅子保存会
天野神社大獅子保存会
田尾獅子連
東中宮獅子連
股獅子連
嶽青岸獅子連
鍛冶香蓮寺獅子連
四角
丸岡獅子連
藤田・川北獅子連
駒足獅子連
鹿伏獅子連
田中高中原獅子連
西居獅子連
茶土獅子連
川園獅子連
鹿庭上組獅子連
中代西獅子連
山十商会
丸川
新
香
佐々木光世
星野正
吉田重
原田美
阿野晴夫
左直吉江
山地治
寒川和
上高義
森晃
砂本章
西川司
丸匠
井明
藤一匠
ダスキンむぐるま
コ調剤薬局
インテリアプランニングキット
百十四銀行三木支店
白山山荘家族会
山田福祉会後援会
木讃岐国分寺太鼓保存会
エスペランツ
三木高校1・3年生
（順不同・敬称略）

訪問
山大寺
願常光寺
長覚寺
信光寺
蓮成寺
松住寺
福円寺
べ若寺
夢本寺
坂整
嶋伊希子
周コ
三木中学校ボランティア部
田中小学校5年生委員
エ川ヌケ歌謡教室
香原ブラスチェンバロ
菅
重元・石ケ坪大獅子保存会
天野神社大獅子保存会
田尾獅子連
東中宮獅子連
股獅子連
嶽青岸獅子連
鍛冶香蓮寺獅子連
四角
丸岡獅子連
藤田・川北獅子連
駒足獅子連
鹿伏獅子連
田中高中原獅子連
西居獅子連
茶土獅子連
川園獅子連
鹿庭上組獅子連
中代西獅子連

表紙写真「冬至の果実ー柚子」鴨井清孝